労使関係研究協会 第 19 回労働講座 レジメ

高 木 剛 (連合顧問·全労済協会理事長)

労働運動へのチャレンジ45年

(はじめに)「雇用社会一日本」一労働組合の存在意義と不条理との闘い

1. 労働運動の原点

- (1) 労働組合は「ワーカーズ・ファースト」を追求する集合体
 - ①「ワーカーズ・ファースト」の要諦は「相愛扶助」と「連帯」
 - ②「ワーカーズ・ファースト」のための力の発揮を担保する労働三権
 - ③「ワーカーズ・ファースト」の延長線にある不条理との闘いと民主主義の死守
- (2) 私が常に意識してきた労働組合の活動目標
 - ① 組合員の「雇用」「労働」「生活」と権利の改善
 - ② 働きやすい職場づくりと労働者の自己実現のレベルアップ
 - ③ 産業・企業の発展ための基盤づくり
 - -生産性三原則を踏まえた生産性向上とイノベーション、 産業政策、産業民主主義
 - ④ 自由にして民主的な労働運動の路線の堅持
 - 左右の全体主義との対峙、社会の民主的な発展をはかるための政治的民主主義、 選挙のための活動、不条理と不公正との闘い
 - ⑤ 切磋琢磨の労使関係の形成
 - ⑥ 各般にわたる政策制度要求・実現のための活動の促進
 - ⑦ 相互扶助のための労働者自主福祉事業の推進

- (8) 国家主権の尊重と世界平和の実現
- ⑨ 民主的な組織運営と財政の確立
- ⑩ 組合活動への参加のレベルアップと教育・宣伝活動の充実

2. 45 年余りに亘る私の労働運動経験

- (1) 単組、地方組織、産別、ナショナルセンターの各組織での仕事を経験
- (2) 単組(全旭化成労働組合連合会、通称:全旭連)時代の活動の思い出
 - ① 家族ぐるみの社内昇進試験
 - ② 賃金格差の是正
 - ③ 労働委員会付議義務付け排除の闘い
 - ④ 平和義務違反のストライキの差止命令とその後の対応
 - ⑤ 経営者の言論の自由と組合批判ースト権等票への影響力の行使
 - ⑥ 4組3交代制の実現
 - ⑦ 専従者の処遇等取扱い
 - ⑧ 関連会社と親会社の争議時の課題-関連会社のストライキ時の親会社からの出向者のスト破り問題
 - ⑨ 延岡市議選挙と区割り

(3) 宮崎地方同盟時代の思い出

- ① 縫製会社の倒産と生産管理による再建
- ② 宮崎県の中小企業向け倒産時労働債権支弁制度の設立
- ③ 宮崎市タクシー労働組合協議会(タク協)の統一一斉ストライキ
- ④ 農協労働組合の結成とそのサポート
- ⑤ 国政選挙の活動 一特に米沢選挙
- ⑥ 宮崎県労働委員会や最賃審議会への参加

- ⑦ 国鉄・郵政における組織対立と鉄労・全郵政支援
- ⑧ 総評・同盟対立と労金加盟問題
- (4) ゼンセン同盟(UIIゼンセン同盟)時代の体験
 - ① 組織拡大と産業政策づくり
 - ② 組織化にまつわる話あれこれ -パチンコ店の組織化、介護クラフトユニオン結成
 - ③ 部会新設 (例) フード部会
 - ④ 合理化対策ー合理化三原則、カネボウ・ダイエーの産業再生機構での対応
 - ⑤ 連帯基金制度の維持と縮小
 - ⑥ 都道府県支部長の苦労話
 - ⑦ 産別統一闘争と中闘委員長の承認
 - ⑧ 労組法第 18 条の地域における一般的拘束力
 - ⑨ 産業政策に関連した諸活動ー操業規制と査察、日米繊維交渉、消費税導入問題、 大規模店舗法と出店規制問題、正月営業問題
 - ① パートタイム労働者の処遇改善
 - ⑪ 死亡事故のゼンセン本部による査察
 - ① 労働戦線統一の努力
 - (3) 産別統合への対応
 - (4) 女性の参加拡大と女性委員会活動の強化
 - (15) 各級選挙―参院選の敗北時の経験
 - (16) 労働審判制度の創設(連合副会長時)
 - ① プロ野球選手会との関係づくり
 - ⑩ 中央労大等、産別としての教育活動の強化
 - ⑨ 5つの国際産別活動への参加とその活動ーパレスチナ問題、JP スティーブンス社の組織化、ヤオハン・アメリカの組織化、 ヨルダンのクリニック造り

(5) 連合時代の経験

- ① 連合会長選への出馬
- ② ベースアップの要求が出来ない春闘と「賃金改善」
- ③ 新自由主義(規制緩和等)との闘い
- ④ 最質の引上げ
- ⑤ 非正規雇用労働者の増加と非正規労働センターの設立
- ⑥ ホワイトカラーエグゼンプションの提案の押し戻し
- ⑦ 洞爺湖サミットの事前のG7労組代表と福田首相(サミット議長)との会見
- ⑧ 安全保障政策等をめぐる連合内意見調整の難しさ
- ⑨ ICFTU と CFL との合併のための調整、そして ITUC の結成
- ⑩ AFL-CIO、TUC、DGB、中華全国総工会、FKTUとの定期協議及びロシア労組との協議
- ① OECD-TUAC の活動とG7、G20、APEC 等における労組と各国リーダーとの協議
- ② 2007年参院選挙、2009年衆院選挙と政権交代
- (13) 中華全国総工会との仲直り
- (4) 高輪プリンスホテルの日教組教育研修集会 契約破棄問題
- (f) 国際労働財団(JILAF) 理事長時の経験
 - 一発展途上国における生産性教育、ベトナム労組に対する労働組合法改正に関する 支援 etc
- (6) 労働者自主福祉活動の活性化

(終わりに) 良き師、良き仲間に恵まれて

以上